



平成30年5月14日

各位

会社名 木村化工機株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 康眞
(コード番号6378 東証 第1部)
問合せ先 常務取締役管理部門長 福田 正行
(TEL. 06-6488-2501)

業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成29年11月13日に公表しました平成30年3月期通期業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

(金額の単位：百万円)

(1) 平成30年3月期 通期連結業績予想値との差異(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	20,400	1,200	1,230	850	43.01
今回発表実績(B)	20,360	1,694	1,729	1,189	60.21
増減額(B-A)	△39	494	499	339	—
増減率(%)	△0.2	41.2	40.6	40.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	17,331	951	975	631	32.01

(2) 平成30年3月期 通期個別業績予想値との差異(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	20,000	1,170	1,200	1,320	66.80
今回発表実績(B)	19,857	1,615	1,652	1,627	82.35
増減額(B-A)	△142	445	452	307	—
増減率(%)	△0.7	38.0	37.7	23.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	17,331	819	865	570	28.92

(3) 差異の理由

当期の業績につきましては、売上高は、ほぼ当初の予定通り推移いたしました。利益面では工程管理の強化による原価率の改善、コスト管理の徹底を行ったことによる経費削減により営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期当期純利益とも当初予想を上回りました。

なお、個別決算については、平成 29 年 10 月 1 日付子会社 2 社の合併を行い、特別利益（抱合せ株式消滅差益）530 百万円が計上され、当期純利益に同額の影響を与えております。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 5 月 12 日)	前期実績
基準日	平成 30 年 3 月 31 日	同左	平成 29 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	8 円 00 銭	5 円 00 銭	7 円 00 銭
配当金の総額	163 百万円	—	143 百万円
効力発生日	平成 30 年 6 月 6 日	—	平成 29 年 6 月 7 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、企業業績に応じた配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針に基づき、当事業年度の期末配当につきましては、業績を鑑み、前回予想の 5 円に特別配当として 3 円を加え、8 円とさせていただくこととしました。

今後も、中長期的な視点に立って、成長が見込まれる事業に経営資源を投資することにより、持続的な成長および企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

以上